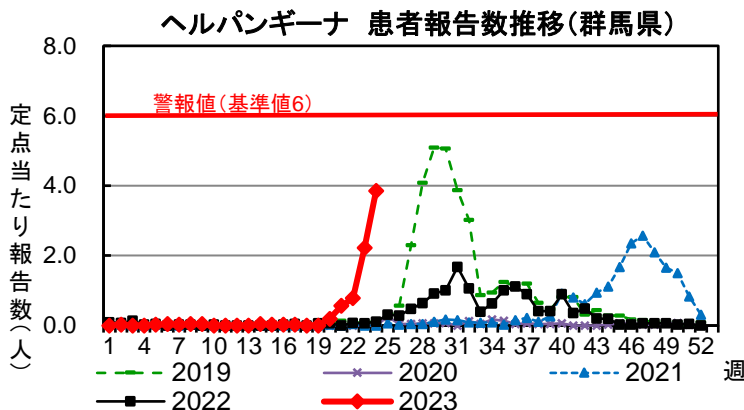


こどもの夏かぜに注意!



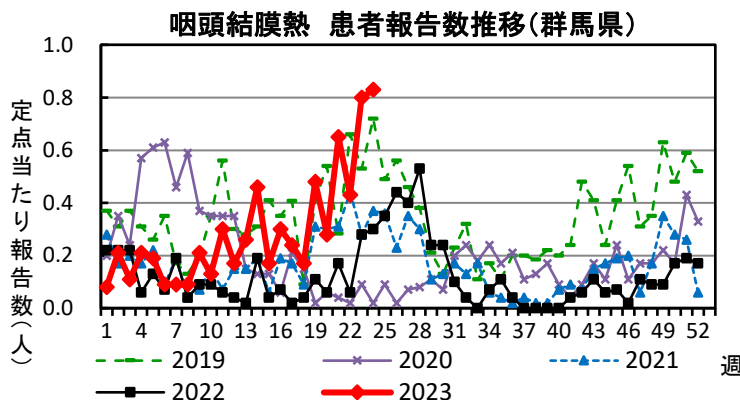
◆ 夏かぜとは?…夏に流行するウイルス性疾患の総称

- ヘルパンギーナ：突然の高熱（38～40℃）と咽頭痛が主症状である。口の中に水疱ができ、痛みで食欲不振になることがある。乳幼児に多くみられる。
- 咽頭結膜熱：別名「プール熱」とも呼ばれ、発熱・咽頭炎・結膜炎などが主症状である。
- 手足口病：発熱や、口の中・手のひら・足の甲・足の裏などに数mmの発しんが出る。大人が感染すると痛みが強くなることが多い。



◆ 県内の流行状況

- 2020年、2021年と夏かぜの流行はみられませんが、**2022年7月下旬～8月上旬に手足口病の警戒が発令**されました。
- 今年は**ヘルパンギーナ**の増加が例年より早くみられ、**一部の地域で警戒値を越えました**。



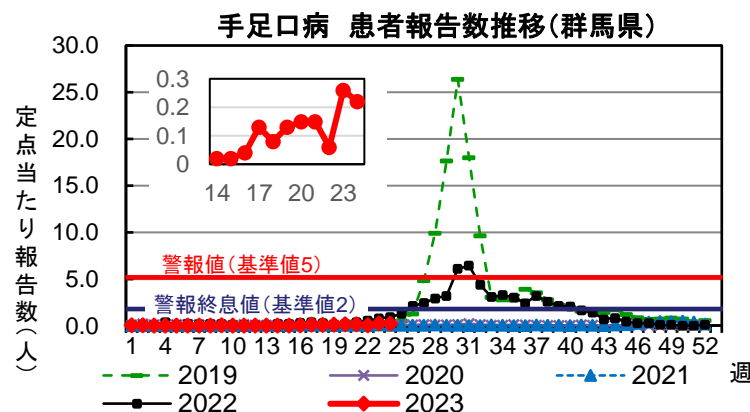
◆ 感染経路・予防法

〔感染経路〕

- 飛沫感染・接触感染・糞口感染（便に排出されたウイルスが手などを介し、口に入って感染すること）

〔予防法〕

- 手指は、**石けんと流水でよく洗う**。特にトイレやおむつ交換の後には、しっかり手洗いをする。
- プールでの**タオルの共用はしない**。症状がある人は自宅でもタオルなどを共用しない。



症状があるときには?

- 医療機関を受診し医師の指示に従ってください。
- 水分と十分な休養を取りましょう。



★感染症の詳しい情報(群馬県感染症情報)

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>